

岩手県脳卒中予防県民会議 設立趣意書

本県の脳血管疾患の年齢調整死亡率は年々減少傾向にはあるものの、全国との差は広がっており、平成 22 年の年齢調整死亡率は厚生労働省の人口動態統計によると都道府県別で男女ともワースト 1 という状況にあります。

県民が生涯を通じて心身ともに健康で質の高い生活を送るためには、正しい生活習慣を身に付け、生活習慣病の発症予防や重症化予防、社会生活を営むために必要な機能の維持向上に努めていくことが重要です。

一方で、個人の健康は、家庭、学校、地域、職場等の社会環境の影響を受けることから社会全体として、個人の健康を支え、守る環境づくりに努めていくことが重要であり、行政機関のみならず、企業や民間団体等の積極的な参加・協力を得ながら県民が主体的に行う健康づくりの取組を総合的に支援する環境を整備していく必要があります。

健康づくりへの取組は、これまで、個人に対する取組が中心でしたが、今後は、個人への対策だけでは解決できない課題への取組として地域社会の健康づくりを進めていくことが必要です。

そこで、本県の喫緊の健康課題である脳卒中死亡率ワースト 1 からの脱却とともに、健康寿命の延伸を図るため「岩手県脳卒中予防県民会議」を設立し、県民一人ひとりが自らの健康状態を自覚し健康的な生活習慣の確立とともに、社会全体で県民の主体的な健康づくりを支援する社会の確立を目指すものです。

平成 26 年 6 月 30 日

岩手県脳卒中予防県民会議設立発起人

発起人代表	岩手県	知事	達増拓也
発起人	岩手県医師会	会長	石川育成
	岩手県商工会議所連合会	会長	谷村邦久
	岩手医科大学	理事長	小川 彰
	岩手県市長会	会長	谷藤裕明
	岩手県町村会	会長	民部田幾夫